

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第1回 桜島小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年5月15日(木) 16:00 ~ 17:00

2 場 所 家庭科室

3 あいさつ(学校長、委員長)

(1) 学校長より

今年度もよろしくお願いいたします。

今年は学級数が減ったため、教頭が1人になり、代わりに主幹教諭という教頭の補佐をすることができ教諭がつく体制となった。職員数も減ったが、みんなで力を合わせていこうと思っている。

新学期が始まり1か月たったが、こどもたちは、全体的には非常に落ち着いてがんばっている。

この学校運営協議会は、昨年と同じ仕組みでいきたいと思う。事務局の方は、教頭と主幹教諭でやらせていただく。

(2) 委員長・副委員長あいさつ

委員長:今年度も引き続き、よろしくお願いいたします。何か学校と連携していきたい意見があったらいつでもいいので知らせてほしい。実施できるようにしていきたいと思っている。何か

副委員長:今年もよろしくお願いいたします。昨年同様、委員長についていきたいと思っている。

(3) 委員・事務局あいさつ

(略)

4 説明事項

(1) 令和7年度学校経営方針について

・別紙資料参照

ア. 学校長より説明

学校経営方針は、この場で認めていただいて(案)がとれる形となっている。

学校教育目標は昨年と同じ目標「自ら学び、高めあい、よりよく生きようとするこどもの育成」でいきたいと思っている。この学校経営方針に基づいて、より細かい学校の仕組みや校務分掌、先生たちの具体的な取組が行われる。一番学校の基になっているものなので、よく見ていただいて、認めていただきたい。

(2) 令和7年度桜島小学校配当予算について

・別紙使用参照

ア. 教頭より説明

事務と共有してこのような形で予算を執行していこうと思っている。

5 協議内容

(1) 令和7年度学校経営方針について

令和7年度の学校自己評価書(学校関係者評価)について

・別紙資料参照

ア. 学校長より説明

今年度も項目は昨年度と変わらない。

1つ目の「学力向上×ICT活用」については、今年度の学校の研修テーマが「子をいかに主体にして授業を組み立てられるか」というものなので、それに関わったものを本年度の活動(具体的な手立て)にあげている。

2つ目の「長期欠席対策」。方策としては昨年と変わらない。不登校を生まないためには、人権教育・生活指導・学力保障・児童支援のベクトルを同じにしなければ、こどもたちは学校に安心して楽しく登校はできないと考えるため。学校に行き渋るこどもたちが少しでも減ることを目指して頑張っていく。

3つ目、非認知能力の育成。昨年度から鈴鹿市で力をいれているものである。今年度は校内に担当を置き、いろいろな分野から年間計画を立て、やり始めた。本校としては、自己肯定感の向上を重点取組にしていきたい。

4つ目は地域連携。今でも、ボランティアなどでとてもお世話になっている。学校側もこどもたちが「この地域っていいな」と思う愛着心、また、将来、「大人になったら地域の役に立ちたいな」という気持ちを育てていきたいと思っている。そのために、こどもたちが「この地域ってどんな地域なのか」を知れるような、地域を教材としていくような取組もしていきたいし、地域の方々からいろいろ教えてもらったり、ボランティアとして助けてもらったりすることで、「わたしたちは地域の方にお世話になっている。わたしたちも役に立ちたいな」という思いに繋げていきたい。

最後は、働き方改革。時間外労働が少しでも減り、先生たちがゆとりをもってこどもたちに接することが、こどもたちにとって一番大事なことと思う。先生たちのゆとりや生き生きとした姿でともに働く学校にしていきたい。

以上のようなことを今年の学校評価の基準としていきたい。

イ. 協議(○:委員の発言 ●:学校側の発言)

○	「学力向上×ICT活用」について。「2ポイント上」と記載されているが、県の平均より上ということか。全国より上ということか。それとも昨年度より上ということか。
●	全国学力調査は国の平均、みえスタディ・チェックは県の平均が出てくる。昨年度は、国の平均すれすれであった。平均の上をどんどん狙っていくものではないと考えてい

	る。平均より少し上を毎年キープできるといいなというのが私の願いである。そのためには、1年生から積み上げていけば、平均より少し上をキープできている。
○	「長期欠席対策」について。昨年度の長期欠席者はどのくらいいたのか。
●	学校は欠席日が10日以上という指標と30日以上という指標をもっている。10日以上となると、病気やケガでの欠席も含まれ、100人を超える。30日以上となると30人程度。全体の5%程である。
○	小学校から中学校に進学すると、長期欠席は増えるのか。
○	中学校の学校運営協議会で聞いたのは全体の1割程度が長期欠席者だったと記憶している。
●	気分を変えて、登校できるようになる子もいるが、小学校で行き渋り傾向にあった子は続くことは多い。また、兄弟で行き渋り傾向になってしまうこともあるため、小中で連携して見守ることが大事だと感じている。
○	「小学校は行ったけど、中学校はゲーム実況を動画投稿するから行かない」と発表していた子がいたことを思い出した。同世代の子がしているからばくもしたいから行かないと選択する子もいるのではないかと思った。
○	「非認知能力育成」について。「自己肯定感」を重点取組とすると記載されているが、自己肯定感があがる方法があれば、教えてほしい。
○	「褒める」について。TV での情報だが、「いい子だね」と褒めると「いい子にしなきゃいけない」となっていまい、間違った方向にいくこともある。できた過程を褒めるとか、具体的に褒めるといいと精神科の先生がいていた。なんでも褒めればいいのかというわけではないと思うが、「あなたは大事な子である」ということが分かってもらえたら、自分のことを好きになってもらえるのではないか、という気がする。
○	「100点とった」ことだけを褒めると「100点取れない自分はだめだ」という考えになる子がいて、「100点取れない自分には価値がない」と考えてしまう子がいると私もTVで聞いた。 あと、家庭でできるだけ親から、「可愛い」「大好き」という言葉を伝えると自己肯定感があがると聞いた。
○	どの子も父や母、身近な人に言ってもらうことがうれしいと思う。いろいろな子をみていて思う。どんだけ慕ってくれていても、お母さんやお父さんにはかなわない。祖父母含む身近な保護者が毎日声掛けをしてくれるだけでも違うのかもしれない。
●	日々の積み重ねが大切。保護者、教職員を含めた丁寧な関わりが必要。「学校経営方針」にも「心にひびく褒め方、叱り方の探求」書いてあるが、褒めるばかりでなく、「だめなときにはだめ、いいときにはいい」ときちんといえる、タイミングなどを学校としては追及していきたいと思う。
○	「地域連携」について。地域 CO として、学校ボランティアのことをもっと地域に声をかけた方がいいのか、悩んでいる。
○	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」とか「人の役に立つ人間になりたい」という思いが子どもたちからたくさんあがっているのであれば、地域活動に子どもが奉

	仕でできるような形のイベントをとりいれるようにすることはできると思う。こどもの気持ちと保護者の覚悟、こどもをボランティアに出すときの指導の仕方、どこまで手を出すとか、どこまで任せるかなどの下準備が小学生には必要なのかなと思う。
○	夏休みに PTA が草抜きに親子で参加する人も多いと思うが、自治会の草抜き、公園の清掃にこどもが来ることはあまりない。自治会の草抜きもボランティアの場であることをもうすこし上手にアピールしたり、紹介したりできれば、こどもも興味をもって参加するようになるかもしれない。
○	地域の草抜き、公園清掃は、親もこどもも「草抜きしないと、公園で遊べない」ということが身近に感じる事なので、理解していると思う。こども主体というよりは、親に言って、「一緒にいこう」と連れていくような地域性を作ることが大切。
○	「働き方改革」について。今年度は朝の開門時間を10分遅らせたようだが、どのような感じか。親の仕事に行く時間に合わせて家を出る場合など、10分遅らせることは意外に難しいのではないかなと思うのだが。
●	全体的には、登校時間は遅くなった。登校指導に行く際、昨年と同じ時間に出るとだれも歩いてこないなど登校時間が遅くなっていることを感じる。ただ、早い子は7時半ぐらいに扉の前で待っている。
○	私の周りの人の登校時間はあまり変わっていない。
○	先月参加したあいさつ運動で、ギュッと時間が集中して学校の指定の時間に来ている子が多いと思った。仕事の関係やご家庭の都合で難しい家もあると思うが、なるべくその時間に合わせようというご家庭が多いのかなと思った。みなさん、学校の依頼に対しての協力は、できるかぎりでしてくださっていると感じた。
○	時間まで、学校には入れないのか。門は開けないのか。
●	門は開けてある。危ないので敷地内には入れるようにしてある。
○	関連して登校について。以前は6年生が1年生と一緒に登校していたと思うが、今はどうか。
○	地区委員が新1年生の保護者に対し「どうしますか」と声をかけている。一緒に行く子もいれば、時間の都合上行かない子もいる。
○	集団登校はしていないのか。
●	している地区はある。
○	帰りは、1・2年生は同じ地区の子が集まって帰っていると思ったが、どうか。
●	2年生までは色別コースに分かれて下校している。
○	学校ボランティアについて。ボランティアで入っていることが先生たちの負担を多少は軽減する力になっているのか。
●	とてもありがたい。今のところ、家庭科などに入ってもらっている。
●	5年生の家庭科で「ゆでる」実習をボランティアの方とした。「包丁を今日初めてさわった」というような子がいる中で、大人の目が多くなることに感謝している。他の教科でもそうだが、大人の目があるだけでもこどもたちは安心して学習できる。今後もよろしくお願いします。

~~5 教育支援課より~~

6 その他

(1) 年間行事予定と学校運営協議会の実施予定日について(教頭)

年間行事予定:保護者に配付済み。学校 HP にも掲載。卒業式日は後日報告。

学校運営協議会:第 4 回の日程が中学校区の関係もあり、変更になるかもしれない。
決まり次第、報告。

(2) その他

・学校だより(校長)

4月に配付した2号分。職員配置、学校での様子が載っている。

・危機管理マニュアルについて(教頭)

地震発生時、南海トラフ地震、豪雨、台風への対応についてのプリントを各家庭に配付予定。

危機管理マニュアル:昨年度と大きな変更はなし。一読し、意見アドバイスがあれば、来年度のマニュアルで修正、参考にさせていただく。